

アイアイカー

# 「愛愛母おんぶ FS 型・S 型」取り扱い説明書

## 製品の必要確認事項

- ①（愛愛母おんぶ FS 型・S 型）のラインナップ
- ②保証期間、
- ③主要部の名称及び仕様書
- ④使用要領
- ⑤特徴 車台、体載せ台、
- ⑥使用上の注意
- ⑦ベルト・金属・接続部 引っ張り検査立ち合い
- ⑧発明者長友光雄の特許に関する情報



おんぶ形 足の不自由な方  
「愛愛母おんぶ FS 型」



だっこ形 立位訓練  
「愛愛母おんぶ S 型」

## ①（愛愛母おんぶ FS 型 S 型）のラインナップ

\*「愛愛母おんぶ FS 型 S 型」は、数秒で車いすの役割に変身出来て、手足の不自  
由な方を、移乗・移動・排泄のサポートができる移動リフトです。

立位訓練を兼ねた移乗・移動・排泄のサポートもできます。

移動時に多少の段差を越える事と 360 度方向・自在に移動ができます。

また移動は、S 型は、重くなりますが、畳・カーペットでも移動が可能です。

FS 型は、柔らかい床仕上げでは移動が重くなり、畳での使用は、着脱椅子を使用し  
て移動してください。

FS・S 型は、狭い廊下・狭いトイレ入り口は「60cm」あればご利用が可能です。

FS・S 型は、着脱いすを利用して長時間ご利用が可能になります。

FS 型の一般の車いすへの移乗は、足を乗せ換えることなく移乗が出来ます。

S 型の一般の車いすへの移乗は、足載せ台が固定の車には使用ができません。

**②保証期間** : 1 年間 (保証期間でも有料事項が下記に書き込んであります。)

**「愛愛母おんぶ」の使用上（保証上の注意事項）。※体載せ台支持帯は、消耗品になります。**

- 1) 「愛愛母おんぶ」本器の使用荷重以外の衝撃(持ち運び中の落下)等。
- 2) **体載せ台上下ストッパー「インデクスプランジャー」左右が、同じ位置で使用しないで、  
片方のみをセットして使用して器具が変形した場合。**
- 3) 上記の内容は保証期間であっても修理は、ご利用者様のご負担になりますので十分に気を付けてご利用ください。

### ③主要部の名称及び仕様

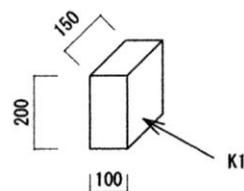
- A 本体車台
- S1 前後が上下移動の支持支点
- A"1ハンドル
- A"2体載せ台
- A"3足載せ台

- A①体載せ台上下ストッパー  
「インデックスプランジャー」
- A②ガイドカバー支持ダンパー
- A③ガイドカバー
- A④中輪
- A⑤前輪
- A⑥後輪左右
- A⑦ペダル
- A⑧フットブレーキ
- A⑨フットブレーキ解除
- A⑩略Y金具長友式バックル
- A⑪体載せ台支持帯バックル

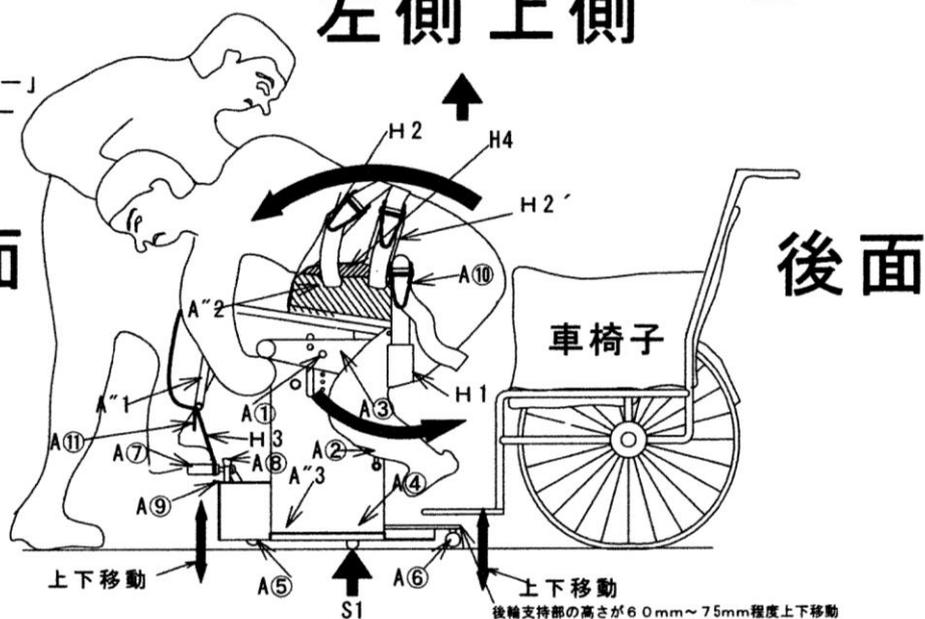
- H1 ヒザ帯
- H2 安全帯 ①引き上げ帯
- H2' 安全帯②介護帯の役割
- H3 体載せ台支持帯
- H4 自在滑り防止マット
- K1 長友式間差具

## 愛愛母おんぶS型

### 左側 上側



### 正面



### 後面

### 車椅子から移乗の断面

### 右側 下側

#### 「愛愛母おんぶFS型」

- 高さ : 移乗前 110 c m、移乗時 83 c m
- 幅 車台幅 : 55 c m
- 長 : 着脱座席付で 97 c m、着脱座席なしで 65 c m
- 重量 : 着脱座席なしで 45 k g
- 車輪の大きさ : 前輪 4 c m、中輪 3.3 c m、後輪 4 c m、着脱座席車輪 12 c m

#### 「愛愛母おんぶS型」

- 高さ : 移乗前 110 c m、移乗時 83 c m
- 幅 車台幅 : 55 c m
- 長 : 着脱座席付で 97 c m、着脱座席なしで 65 c m
- 重量 : 着脱座席なしで 48 k g
- 車輪の大きさ : 前輪 4 c m、中輪 10 c m、後輪 4 c m、着脱座席車輪 12 c m

#### 下記の内容は、共通です

- 車台 鉄・ステンレス
- 足載せ台 スチール
- ヒザ、安全帯 装着部幅 10 c m、帯部幅 5 c m、

「愛愛母おんぶ」セットは、着座してヒザ前部が少し下がった状態で、座面の高さは、床より 40 c m～53 c m程度が適当です。

上記の内容でセットした座面の高さに対して移乗する座面の高さは、同じ高さ又は±6cm以内は移乗が可能になります。

## ④-1 使用要領 S型 FS型共通

④-1 **A”2 体載せ台のセット**は、A①左右の体載せ台上下ストッパー「インデックスプランジャー」の頭部を引き抜き少し回転して解除して A”2 体載せ台の下端を着座した利用者的大腿前部の上に当接させて、(利用者の着座状態は、ヒザ前部が少し下がった状態でセットします) A①左右の体載せ台上下ストッパー「インデックスプランジャー」の頭部をもとに戻して A”2 体載せ台を少し持ち上げると所定の位置で A①左右の体載せ台上下ストッパー「インデックスプランジャー」の頭部がもとに戻りロックされます。必ず左右の「インデックスプランジャー」が左右同じ位置でロックされた事を確認してください。一人専用で同じ座面の高さの使用なら一度のセットでOKです。

※片方のみで使用すると A”2 体載せ台部分がねじれて使用不可能になりますのでご注意ください。

④-2 **A”2 体載せ台の傾斜**は、A⑦ペダルに連携した A⑫体載せ台支持帯バックルで適宜の位置で支持固定が出来ます。A”2 体載せ台の支持は、A⑦ペダルが上部で固定部に当接して停止して支持されます。

A”2 体載せ台の傾斜は、利用者に無理のない適宜の位置に固定出来ます。

④-3 **移乗時の H1 ヒザ帯使用**は、正面より左側は J 字フック金具に掛けて、右側の側面に長友式バックルを A1⑩略 Y 字形のフック金具を掛けて H1 ヒザ帯左端部を引き下げると H1 ヒザ帯が利用者の足膝下に当接して締まります。

④-4 **H2 介護帯と H2´引き上げ帯**は、A”2 体載せ台の上部から 2 本の帯で支持されています。また 2 本の帯の上部に滑りにくいレザーで H2 介護帯と H2´引き上げ帯を覆っています。A”2 体載せ台上部より 2 本の帯につる下げた H2 介護帯と H2´引き上げ帯は、正面より左側に接続金具で右側が長友式バックルです。接続金具と長友式バックルを接合して、先に H2´介護帯の役割で、あばら骨の下部にセットして右端部を右方向に引き寄せて締めて、後から H2 引き上げ帯の役目の安全帯右端部を右方向に引き寄せて締めて、利用者を H2 と H2´安全帯で保持し体載せる台と一体に滑り上がらないようにします。

④-5 **リハビリを兼ねた介助**は H2 介護帯と H2´引き上げ帯をしっかりとセットして利用者の胸が体載せ台に預けて使いやすい高さの位置に設定して、体載せ台の勾配は、ご利用者のご利用しやすい位置でご利用ください。

④-6 **便器・椅子・車いすへ等の着座**は、利用者のお尻が座面の中央に乗る状態で介助者は、片手で A⑫体載せ台支持帯バックル片方の片手は A”1 ハンドルを同時に元に戻して着座させます。

④-7 **A⑫体載せ台支持帯バックル操作要領**は、A⑫体載せ台支持帯バックルと H3 体載せ台支持帯を同時に握って上方向に持ち上げると利用者の重みと介助者の押し下げ手加減で徐々に解除でき安全に着座させる事ができます。

④-8 **着座からの本器への移乗**は、両手で A”1 ハンドルを引き寄せ負荷が掛かったところから A⑦ペダルを足で踏み下げ同時に A”1 ハンドルを片手で押し下げ片方の片手で H3 体載せ台支持帯を引き寄せて引っ張った状態で A⑦ペダルに支持させて所定の位置に支持固定させます。

④-9 **A⑧フットブレーキ**は、前部を持ち上げ前輪を浮かし中輪と後輪が床面に接地した状態で A⑧フットブレーキの頭部を踏み下げます。

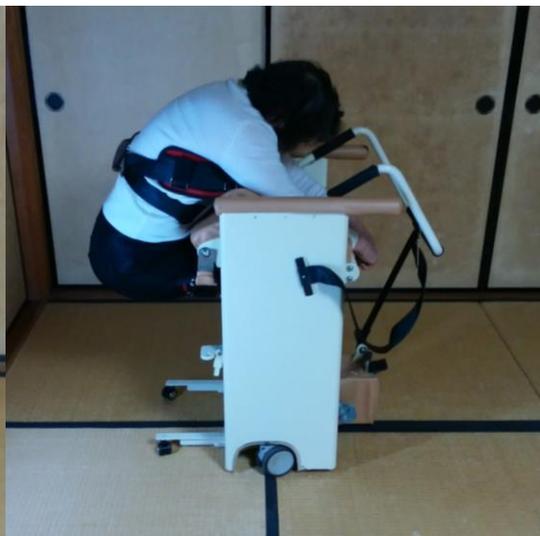
④-10 **A⑨フットブレーキ解除**は、A⑨フットブレーキ解除の頭部を下方に踏み下げると解除できます。

④-11 着脱椅子セットは、本体の後輪フレームの凹に着脱椅子の凸の部分挿入して左右方向の固定を用意された回転レバーを回転すれば本体と接続出来ます。

⑤-1 特徴 段差を越えられる仕組みは、中輪が下方に突出で前後上下にシーソーの要領で前輪又は後輪の片方が浮いた状態で段差をまたぐことができます。そのことで段差は、中輪のみが段差を越えます。



⑤-2 FS型は、車椅子に着座した利用者の足を乗せ換える事無く本器に移乗し移動できます。



⑤-3 FS型S型共に安全帯装着要領は、上記内容でH2とH2´ベルト装着になります。

## ⑥-1 使用上の注意 ご利用者和本器の使用制限

※器具に対して介助者と被介助者が、思い通りの介助が出来ない方・

意思表示が出来ない方・骨粗鬆症方は体重が100kg以上の方、身長が190cm以上の方、お控えください。

体調に不安な方は、医師やリハビリ専門家に充分ご相談ください。

- 1) 移乗移動器具（愛愛母おんぶ FS・S）は、国外でのご利用はお控えください、保証が出来ません。
- 2) 移乗移動器具（愛愛母おんぶ FS・S）は、室内用介護器具です屋外やスロープでのご利用はご遠慮ください。
- 3) 移乗移動器具（愛愛母おんぶ FS・S）は、ご利用者様の状態によってはご利用が出来ない場合もあります。
- 4) 移乗移動器具（愛愛母おんぶ FS・S）は、介助者がご利用者を安全に移乗移動が可能と判断後にご利用ください。

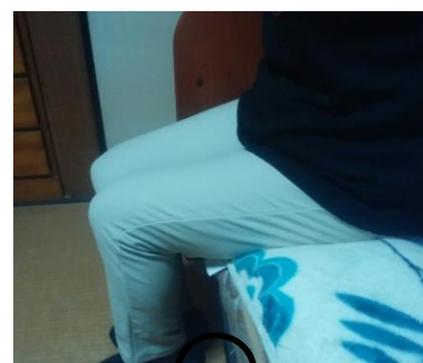
5) 本器ご利用の際は、取り扱い説明書・ホームページ①人物器具の説明②バックル車いすからトイレ介護③バックルリハビリを兼ねた介護（在宅介護の時は、バックル在宅介護）の動画をご覧ください。

## ⑥-2 利用方法の使用上の注意

1) 立てない方の「愛愛母おんぶ」セットは、着座してヒザ前部が少し下がった状態で、座面の高さは、床より40cm～53cm程度が適当です。上記の内容でセットした座面の高さに対して移乗する座面の高さは、同じ高さ又は±8cm以内は移乗が可能になります。

また下半身が支えられる方の移乗・移動は、利用者の胸が体載せ台に預けて使いやすい高さの位置に設定して、体載せ台の勾配は、体載せ台支持台に当接させて上下移動しない状態をご利用ください。

愛愛母おんぶセットは、着座した状態で下記の写真で示す姿勢でセットしてください。



；着座し足ヒザ関節部が上がった状態は、お尻が下がった状態でセットしますので【**良くないセット**】

；着座し足ヒザ関節部が水平又は少し下がった状態は、お尻が上がった状態でセットします【**良いセット**】

2) 移乗作業時は、必ずA⑧ブレーキを後輪2輪が床面に当接まで前部を持ち上げてロックしてください。

3) 移動時は、必ずH3体載せ台支持帯が正常になっているかを確認してください。

4) 使用前に、H3体載せ台支持帯、H1ヒザ帯、H2介護帯とH2´引き上げ帯の破損や異常が

ない事を確認後にご利用ください。尚異常が見つかったらご使用お控えください  
 5) 移乗時に停止の際は、A⑧ブレーキを掛けてください。

### ⑥-3 修理及びベルトの交換について

ベルト交換以外で故障が生じた場合は、弊社に送り返して頂き新規の器具の交換又は修理になります。

ベルトの交換は、弊社の方で有料にて宅急便で送らせていただきます。

ベルト交換は、ご利用者様でベルト交換をお願いすることになります。

上記ベルトは、H1 ヒザ帯・H2 介護帯・H2' 引き上げ帯・H3 体載せ台支持帯を言います。

※詳しくは、お問合せ下さい。

### ⑦ ベルト・金属・接続部 引っ張り検査立ち合い

## 愛愛母おんぶ ベルト・金属 引張試験

キーワード	品名
結果ファイル名	20160727ベルト引張 _3.xtai
作成日	2016/07/27
試験モード	シングル
速度	50mm/min
バッチ数	1
条件ファイル名	ベルト 引張条件 20160727.xmai
試験日	2016/07/27
試験種類	引張
試験片形状	平板
サブバッチ数	1

名前 パラメータ 単位	最大点_試験力 全エリアで計算 N
ベルト No2	5862.50
平均値	5862.50
標準偏差	--
最大値	5862.50
レンジ値	0.00000



検査機関

#### 宮崎県工業技術センター

880-0303 宮崎市佐土原町東上那珂 16500-2

(宮崎テクノリサーチパーク内)

TEL:0985-74-4311 FAX:0985-74-4488

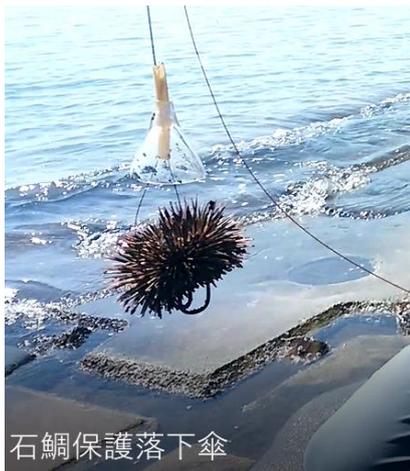
E-mail:[info@iri.pref.miyazaki.jp](mailto:info@iri.pref.miyazaki.jp)

ベルト引っ張り検査は、最大 586 k g で上記の右側写真の状態で可動金具が可動部の損傷で2つのバックルともほぼ同じ値で破壊。表示は、少ない値を表示しています。

## ⑧ 発明者長友光雄の特許に関する情報

発明の名称 折り曲げ柵装置 特許取得

発明の名称 片持ち支持機構 特許取得



石鯛  
ねかかり  
防止

石鯛保護落下傘



球磨川水系  
川辺川  
通称吊り橋  
下の瀬  
鮎根かかり  
取り状況



一ツ瀬ダムで爆弾釣りにて根かかり防止を利用して大きい5kgの鯉ゲット

鉛 釣り針の根かかり防止

落下傘で釣り針を守る形状4種類



球磨川  
球磨川  
川辺川  
合流点  
鮎根かかり  
取り状況



鮎・ルアー  
根かかり  
取り

〒 880-1101 宮崎県東諸県郡国富町大字本庄 1746-7  
 有限会社 長友工務店 長友式介護プロダクト  
 代表 一級建築士 長友光雄  
 TEL 0985-75-9258 FAX 0985-89-0372  
 携帯 090-3602-3806  
<http://www.montsukuri.co.jp/>  
 E-mail:nagatomo@siren.ocn.ne.jp